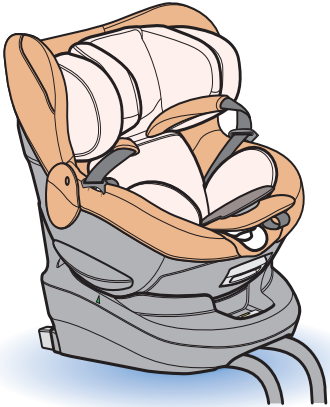
20701121C

AILEBEBE

取扱説明書

本書は大切に保管してください。



KURUTTO R

クルット アール

動画
取扱説明

危険 本品はお子さまを守るための安全製品です。誤った取り付け、使用はお子さまの死亡や重傷を負う事故の原因となる場合があります。使用する前に必ず本書をよく読み、内容を充分にご理解のうえ、正しく使用してください。

本品の使用条件

<重要>
お子さまの身長が76cm以上、かつ月齢が15ヶ月を超えるまでは前向きで使用しないでください。
前向きで使用すると骨格や筋肉が未発達のため、衝突時に脳や首に重大な傷害を負う恐れがあります。
できるだけ長い期間、後向きで着席させ、衝突時の衝撃を背中全体で分散して受け止めるのが理想です。

シートの向き

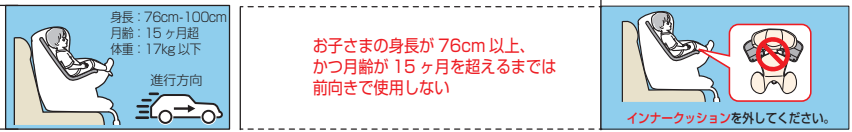
後向き

40cm-60cm 以下 ≫ 60cm を超えたら ≫ 75cm を超えたら

40cm（新生児から） → 60cm → 75cm → 87cm → 100cm（体重 17kg 以下）

76cm 以上かつ 15 ヶ月超

前向き



インナークッションの使いかた ➡ 54 ページへ

肩ベルト高さの調節

肩ベルトの高さ調節 ➡ 48 ページへ

目次

箱から出したらまず確認

本品の使用条件 2
各部の名称と付属品 4
チャイルドシートの正しい持ちかた 7
安全にお使いいただくために 8
緊急事態が発生したら 18

車への取り付け・取り外し

車へチャイルドシートを取り付ける 20
車からチャイルドシートを取り外す 33

お子さまの乗せ降ろし

お子さまを乗せる 38
お子さまを乗せた後の確認 44

各部の使いかた

リクライニングの操作方法 46
回転操作方法 47
肩ベルトの高さを調節する 48

付属品の使いかた

日よけを取り付ける 50
日よけの使いかた 51
日よけを取り外す 53
インナークッションの使いかた 54
電池の取り付け・取り外し方法 57

お手入れのしかた

カバーを取り外す 58
お手入れのしかた 63
カバーを取り付ける 64

Q&A

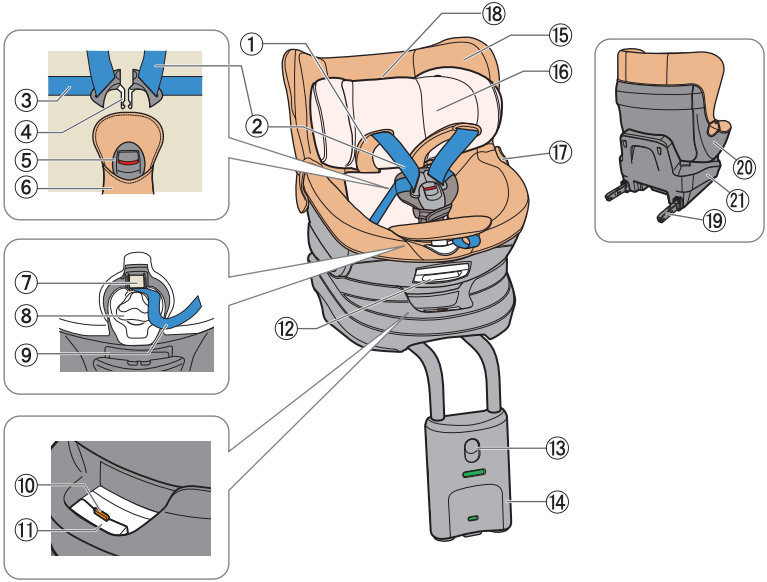
よくあるご質問 72

その他

製品仕様 73
保管方法 73
廃棄方法 73
サポートレッグのアラーム仕様 73
保証について 74

各部の名称と付属品

本体

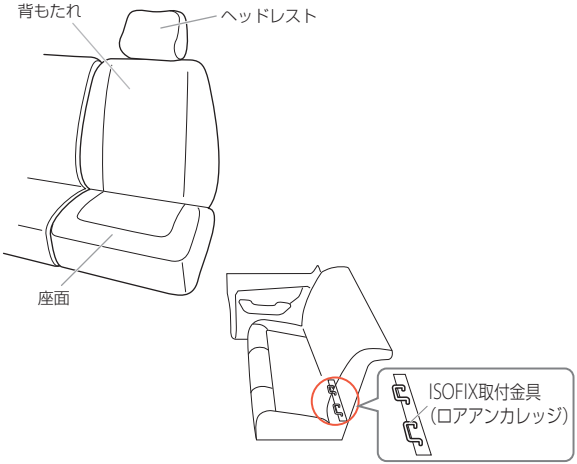


＊グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

① 肩ベルトカバー*
② 肩ベルト
③ 腰ベルト
④ タング
⑤ バックル
⑥ バックルカバー*
⑦ アジャストレバー
⑧ クルットノブ
⑨ 肩ベルトアジャスター
⑩ 解除レバー
⑪ コネクタレバー
⑫ リクライニングレバー
⑬ サポートレッグ調節レバー
⑭ サポートレッグ
（梱包時は収納されています）
⑮ 本体カバー*
⑯ 背もたれカバー*
⑰ タングホルダー（左右）*
⑱ 肩ベルト調節レバー
⑲ コネクタ部（左右）
⑳ シート
㉑ ベース

車の座席名称

本書では、車の座席周りの名称を
次のように呼んでいます。

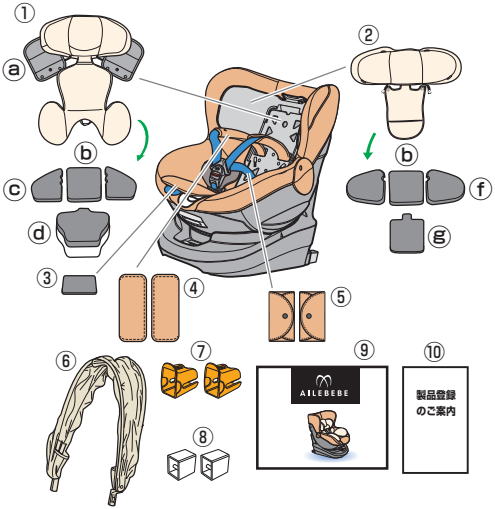


各部の名称と付属品

＊グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。
付属品の取扱説明書がある場合は、併せて参照してください。

付属品・仕様の詳細

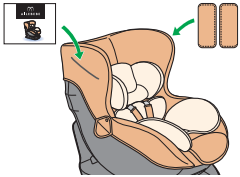
付属品



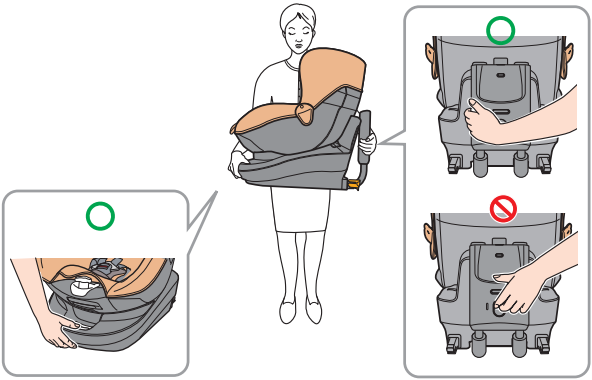
① インナークッション*
　ⓐ 肩ベルトカバー
　ⓑ ヘッドレストクッション*
　ⓒ インナーサイドクッション*
　ⓓ フラットクッション*
② 背もたれカバー*
　ⓑ ヘッドレストクッション*
　ⓕ サイドクッション*
　ⓖ 背もたれクッション*
③ フラップクッション*
④ よだれパッド*
⑤ 腰ベルトカバー*
⑥ 日よけ*
⑦ フィックスガイド
⑧ 保護部材
⑨ 取扱説明書
⑩ 製品登録のご案内

取扱説明書、よだれパッド収納場所

本書は大切に保管してください。



チャイルドシートの正しい持ちかた



⚠注意

サポートレッグ調節レバーを押さえたまま本品を持たないでください。落下してけがの原因になる場合があります。

⚠注意

- 正しい持ちかたをしないと落下等の原因になります。
- お子さまを乗せたまま持ち運ばないでください。
- 本品を持ち運びの際は日よけ部分を持たないでください。(日よけを取り付けている場合)
- レバー、ボタンなどの操作部を持って、持ち運ばないでください。
- 持ち運びの際は、36ページに従いコネクタ部を短くしてください。

安全にお使いいただくために

取り付け可能な座席

本品(品番：BF100-199)はUN (ECE) R129/03において特定車両用ISOFIXチャイルドシートとして認可されております。
弊社の適合情報で取り付け可能な座席のみ使用可能です。
取り付け可能な座席でも、360°回転できない座席やリクライニングに制限のある座席があります。
詳細は弊社の適合情報をご確認ください。

適合情報の確認方法

店頭で.....「エールベベ車種別適合表」
パソコンで .....https://www.ailebebe.jp/
スマホで.....右記のQRコードからアクセスできます。
ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

適合情報確認

使用可能なお子さまの条件

身長：40cm-100cm、体重：17kg以下

安全にお使いいただくための注意事項

取扱説明書および製品本体では、安全にお使いいただくための注意事項を次のように表示しています。表示内容をよくご理解ください。

⚠ 危険	記載事項を守らずに使用した場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる原因となります。
⚠ 警告	警告を守らずに使用した場合、使用者の死亡や重傷を負う事故につながることがあります。
⚠ 注意	注意を守らずに使用した場合、使用者のけがや周辺の物品損害を伴う事故につながることがあります。

使用上の注意事項

禁止	製品の取り扱いにおける禁止事項を示しています。	参考	本品を使用するうえで、知っておいていただきたい事項を示しています。

チャイルドシートの取り付けについて

⚠危険

取り付け適合車種、取り付け適合座席以外では使用しない

- 本品は適合車種および適合座席に正しく取り付け、正しく使用しないと本来の性能を発揮できません。また、取り付ける車を替える場合は、再度、適合車種を確認してからご使用ください。

適合車種や座席の確認方法 ➡ 8 ページへ

走行中に取り付け・取り外しをしない

- 必ず安全な場所に駐車して行ってください。

エアバッグが装備されている座席で使用しない

- エアバッグが作動した際に、お子さまに強い力が加わって、死亡や重症に至る危険性があります。なお、エアバッグが無作動にできる場合は、車の取扱説明書に従ってください。（サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席には使用できます。）

助手席には取り付けできません

⚠警告

取り付け後に座席をスライドまたはリクライニングしない

- チャイルドシートが正しく固定されず安全性が損なわれます。

サポートレッグは必ず車の床に接地させる

- サポートレッグが床に接地していない状態で使用すると、本品がしっかり固定されず、本品の性能を充分に発揮できないため、安全性が損なわれます。

緊急時の脱出の妨げになる座席には取り付けない(片側スライドドアの入り口側座席など)

- 事故などの緊急時に、同乗者の脱出の妨げになる座席には取り付けないでください。

スライド機能がある座席で、サポートレッグがスライドレールに接触する場合は、メーカー純正のフロアマットを使用する

- サポートレッグが座席のスライドレールに接触したまま使い続けると、本品がしっかり固定されず、本品の性能を充分に発揮できないため、安全性が損なわれます。

サポートレッグが車内の凹凸やエアコン吹き出し口に干渉する場合は座席をスライドする

- スライド機能がある座席で、サポートレッグが車内の凹凸やエアコンの吹き出し口などに干渉する場合は、干渉しない位置まで車の座席をスライドさせてください。
  強い衝撃を受けた際、本品の性能が充分に発揮できず、安全性が損なわれます。

⚠注意

車の座席に取り付け跡やキズが残る可能性があります

- 車の座席の表皮素材によっては、取り付け跡だけではなく、座席の表面にキズが残るおそれがあります。

※革製などの車の座席に取り付ける場合

ご使用前に車の取扱説明書をご確認いただくか、車メーカー販売店等にお問い合わせください。
また座席が特別仕様の場合や、輸入車の場合は特にご注意ください。

安全にお使いいただくために

チャイルドシートの取り扱いについて

⚠危険

取扱説明書に記載がない分解、改造、油をさす、および指定部品以外の交換はしない
- 本品の性能が充分に発揮できず、安全性が損なわれる原因になります。

事故や強い衝撃を受けた場合は使用しない
- 外観上破損が確認できない場合でも、本品の強度が下がってしまうことがあるため、交換が必要になります。

本品の剛性部品とプラスチック部品は、可動式の座席や車のドアに挟まないように取り付ける
- 本品の強度が下がってしまうことがあります。

⚠警告

本品はカバーやクッション材を外した状態で使用しない
本品のカバーやクッション材を当社推奨のもの以外に交換しない
- 拘束性能や安全性能が損なわれる原因になります。

本品が入っているビニール袋は開封後すぐにやぶり捨てる
- お子さまが誤って袋に頭を入れ、窒息による死亡事故の原因になる場合があります。

バックルや可動部にゴミ・飲食物などの異物が入った場合は使用しない
- 本品の性能が充分に発揮できず、安全性が損なわれる原因になります。

⚠注意

チャイルドシートを直射日光にさらさない

- 金属部分などが熱くなり、やけどの原因となる場合があります。また、お子さまを乗せる前には、金属部分以外も熱くなっていないか確認してください。

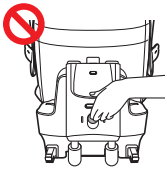
可動部に指を入れない

- 本品を回転、リクライニング、またはサポートレッグを操作する際は、可動部に指を挟まないようご注意ください。

本品のコネクタ部が曲がってしまった場合は、車に取り付けない

- コネクタ部が曲がった状態で車へ取り付けすると、車のISOFIX取付金具から外せなくなるおそれがあります。

サポートレッグの調節レバーを押さえたまま本品を持たない



- サポートレッグの調節レバー等の操作レバーを押さえたまま本品を持ち上げると落下してけがの原因になる場合があります。

サポートレッグのアラーム機能の取り扱いについて

⚠警告

本品を分解したり、改造したりしない

- 感電、火災の恐れがあります。

電池は、お子さまの手の届かない場所に保管する

- 誤飲の恐れがあります。

⚠注意

本品を床に落としたり、硬いものにぶつけたりしない

- 故障の原因となり、アラームが作動しなくなる場合があります。
- 落下や水濡れなど、不注意や誤った取り扱いによる故障の場合は、保証対象外となります。

本品を直接水の掛かる場所や湿気の多い場所で保管、または使用しない

- 故障の原因となり、アラームが作動しなくなる場合があります。

使用しない時は、サポートレッグから電池を外し、保管しておく

- 故障や電池の液漏れが起きる原因となります。

指定の電池以外は使用しない

- 故障の原因となります。

電池内の液が漏れて皮膚や衣服に付いた場合は、きれいな水で洗い流す

参考

- 本品を低温になる場所に置いておくと、一時的に電池の電圧が低下してアラームが作動しなくなることがあります。
- ご購入時に組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用電池です。アラーム音が鳴らない場合は、新品の電池と交換してください。
- 電池を取り付けるとアラーム音が鳴り始めます。アラーム音が鳴らない場合は、電池を交換してください。

安全にお使いいただくために

お使いになるお子さまの安全のために

⚠危険

使用条件にあったチャイルドシートの向きに固定する

- 本品を設置する際は、使用条件にあった正しい向きに固定しないと、本品の性能が充分に発揮できず、安全性が損なわれます。

➡ 2 ページへ

お子さまを立たせたり、中腰、正座をした状態で使用しない

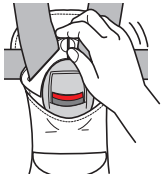
- 本書に従い正しい乗車姿勢でお使いください。

⚠警告

体格にあった肩ベルトの高さにする

- 体格にあった正しい肩ベルトの高さにしないと、本品の性能が充分に発揮できず、安全性が損なわれます。

➡ 48 ページへ



チャイルドシートのバックルを必ずロックする

- 本品のバックルをロックしないと、衝突時にお子さまが投げ出される危険性が高くなります。また、チャイルドシートを使用中のお子さま、または同乗のお子さまが、誤ってバックルの解除ボタンを押さないようご注意ください。

お使いになるお子さまの安全のために

⚠警告

固定していないチャイルドシートを車内に置かない

- 急ブレーキや衝突時に同乗者のけがの原因となる場合があります。

肩ベルト・腰ベルトは正しい位置でゆるみ・よじれのない状態で使用する

- 万が一事故が起きた際、本来の性能を発揮できません。
  また、肩ベルト・腰ベルトが首に掛かり窒息するなど、予期せぬ事故の原因となる場合があります。

お子さまだけを車に残さない

- お子さまが車内にいる時は、必ず保護者の方が付き添ってください。
  特に夏場は車内が高温になり、熱中症を引き起こす原因となります。また、シートベルトが首に巻きついて窒息するなど、予期せぬ事故の原因となる場合があります。

お子さまのけがの原因になるような荷物は必ず固定するかトランク内に収納する

- 急ブレーキや衝突時に、お子さまや同乗者のけがの原因になります。

安全にお使いいただくために

⚠注意

靴や衣服の面ファスナーが本品カバーに引っ掛からないように気をつける

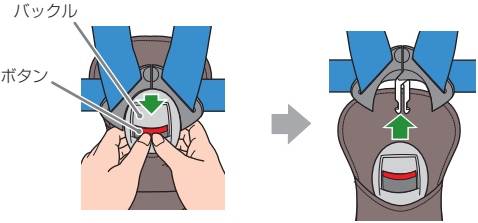
- お子さまの靴や衣服の面ファスナーなどが本品のカバーに引っかかると、本品のカバーを傷める可能性があります。

参考

お子さまの負担軽減のために1時間を目安に休憩してください。

緊急事態が発生したら

事故などの緊急事態が発生した場合は、バックルの解除ボタンを押して肩ベルトをお子さまの腕から外し、すみやかに安全な場所へ避難してください。



－MEMO－

車へチャイルドシートを取り付ける

適合車種のご確認

本品を車に取り付ける前に、必ずご確認ください。

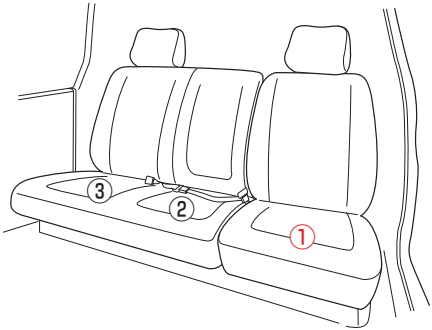
- 車の取扱説明書
- ISOFIX取付金具（ロアアンカレッジ）の有無
- 適合情報

また、車を替えて本品を取り付け直す場合も、ISOFIX取付金具の有無と、適合情報をご確認ください。
取付金具がない場合や、適合車種以外の場合は、本品を取り付けないでください。

適合情報の確認方法 ➡ 8 ページへ

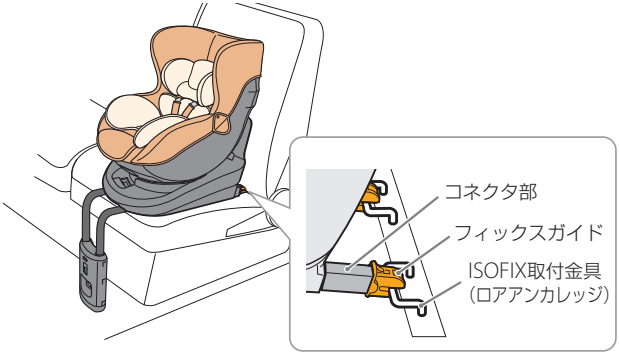
本書で説明する座席について

本書では、車の左側の座席（①）を例に、取り付け方法の説明をしています。



動画
取付方法・
取付後の確認

取り付け完成図



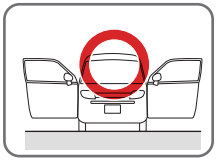
車により取付金具の名称や位置が異なる場合があります。必ず車の取扱説明書で確認してください。
車の種類または座席によっては、フィックスガイドが必要ない場合や、座席のISOFIX取付金具にフィックスガイドを取り付けられない場合があります。このような場合は、フィックスガイドを使用せずに取り付けてください。

⚠危険 本品は、ISOFIX取付金具の装備されていない座席に、車のシートベルトなどで固定することはできません。ISOFIX取付金具以外では、本品が正しく固定されず本来の性能が発揮できません。

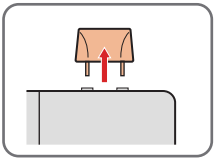
⚠注意 フィックスガイドを無理に取り付けると座席が破損、またはキズが付くことがあります。

車へチャイルドシートを取り付ける

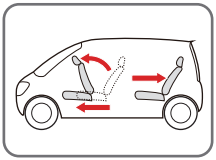
作業前の準備



ドアの全開閉が可能な、
広く平らな場所で行って
ください。



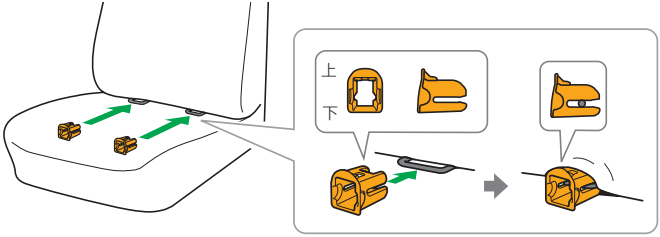
本品の取り付け時または
操作時に、車のヘッドレストに
干渉する場合は、ヘッドレスト
を上げる、または取り外して
ください。
また本品とテーブル、ドリンク
ホルダー、アームレスト等が
干渉する場合は収納、または
取り外してください。



車内の作業スペースを
確保するために、座席を
倒したり、スライドさせて、
できるだけスペースを確保
してください。
取り付け後は本品が前席に
接触しないように各座席を
適切な位置に戻してください。

1 フィックスガイド(黄色)を袋から取り出し、車のISOFIX取付金具に差し込む*

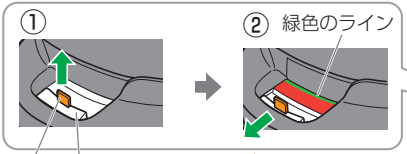
＊ 必要ない場合もあります。下記を参照してください。

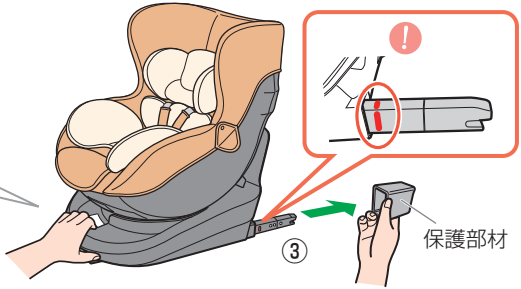


＊ ISOFIX取付金具が座席に隠れて見えにくい、またはISOFIXコネクタを差し込みにくい場合は、フィックスガイドを使うことで、チャイルドシートが取り付けやすくなります。
車の種類または座席によっては、フィックスガイドが必要ない場合や、座席のISOFIX取付金具にフィックスガイドを取り付けられない場合があります。このような場合は、フィックスガイドを使用せずに取り付けてください。
フィックスガイドは本品のコネクタ部を短くする際にも使用するため、捨てずに保管してください。

⚠注意 フィックスガイドを無理に取り付けると座席が破損、またはキズが付くことがあります。

2 保護部材(灰色)を外す





解除レバーが上がっていないと赤色のラインしか見えず、保護部材を外せません。

① 黄色の解除レバーを上げながら、

② **緑色**のラインが見えるまで、コネクタレバーを強く握り、

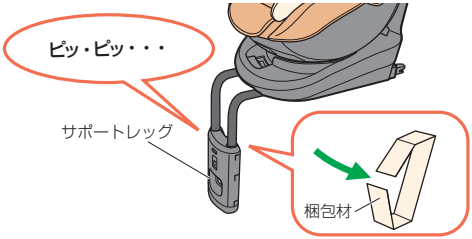
③ 保護部材を勢いよく外す。
保護部材は左右ありますので、片方ずつ外してください。

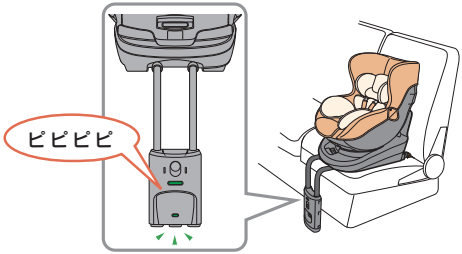
⚠注意 保護部材を外した後にコネクタ部のインジケーターが**赤色**になっていることを確認してください。

サポートレッグのアラーム機能について

サポートレッグを正しく取り付けるため、誤った取り付けをお知らせするアラーム機能が付いています。
梱包材を外すとアラーム音が鳴り始めます。

車の床に接地し、正しく取り付けると、
ピピピピと鳴った後にアラーム音が止まります。



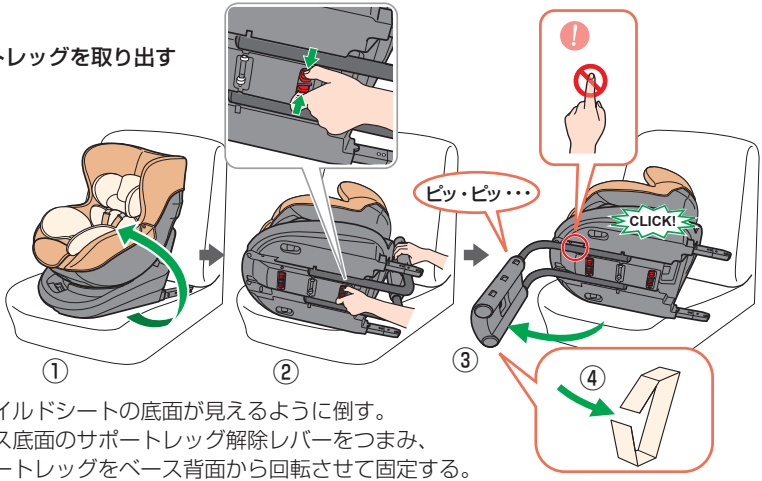


⚠注意 本品を直接水の掛かる場所や湿気の多い場所で保管、または使用しないでください。
故障の原因となり、アラームが作動しなくなる場合があります。

参考
- 本品を車に取り付ける際は必ず電池が入っていることを確認してください。
- ご購入時に組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用電池です。
  アラーム音が鳴らない場合は、新品の電池と交換してください。
- 新品の電池を使用した場合の寿命は約1年です。
- 電池を取り付けるとアラーム音が鳴り始めます。アラーム音が鳴らない場合は、電池を交換してください。

電池の取り付け・取り外し方法 ➡ 57 ページへ

3 サポートレッグを取り出す

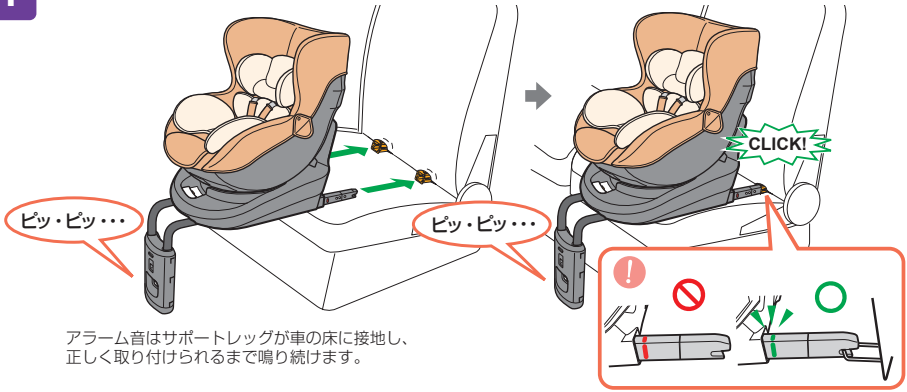


① チャイルドシートの底面が見えるように倒す。
② ベース底面のサポートレッグ解除レバーをつまみ、
③ サポートレッグをベース背面から回転させて固定する。
④ 梱包材を外す。(アラーム音が鳴り始めます。)

参考 本品を車に取り付ける際は必ず電池が入っていることを確認してください。

電池の取り付け・取り外し方法 ➡ 57 ページへ

4 コネクタ部を座席のISOFIX取付金具に押し込む



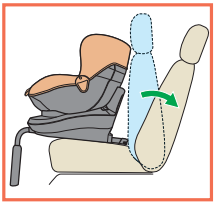
アラーム音はサポートレッグが車の床に接地し、
正しく取り付けられるまで鳴り続けます。

チャイルドシートを座席に乗せ、左右両方のコネクタ部を座席のISOFIX取付金具にカチッと音が鳴るまでしっかり押し込む。

⚠注意　コネクタ部のインジケーターが左右両方とも緑色になっていることをご確認ください。

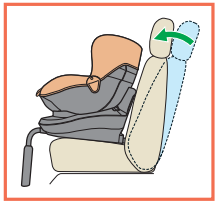
車へチャイルドシートを取り付ける

参考 車の座席形状により、ISOFIX取付金具にコネクタ部が届かない場合は、背もたれを倒してコネクタ部を押し込んだ後、背もたれを起こしてください。



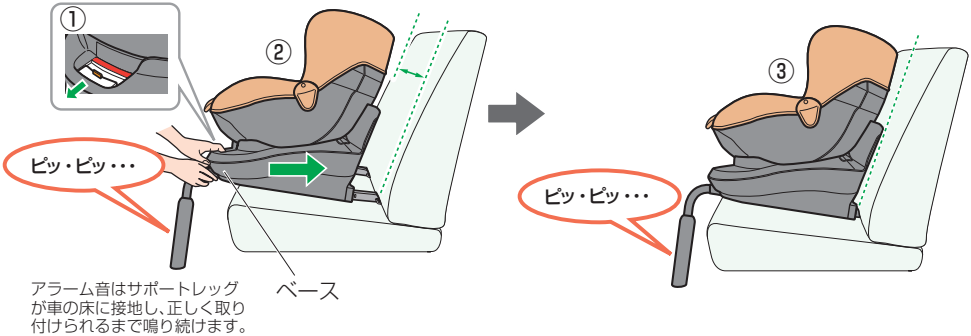
①背もたれを倒す

②コネクタ部を押し込む



③背もたれを起こす

5 ベースを座席に押し付ける



① コネクタレバーを握りながら、

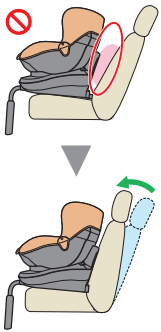
② ベースを押して

③ 車の背もたれに密着させる

車へチャイルドシートを取り付ける

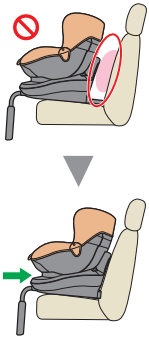
参考 チャイルドシートと車の背もたれに隙間がある場合、以下の方法で密着させてください。

背もたれが倒れすぎて隙間がある場合



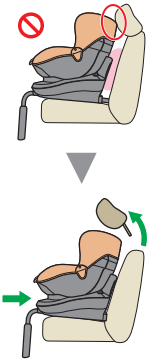
車の座席にリクライニング機能がある場合は、リクライニングを調節する。

ベースと背もたれに隙間がある場合



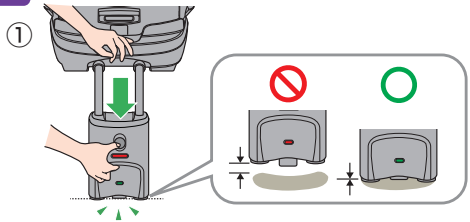
もう一度コネクタレバーを握りながら、さらに押し込む。

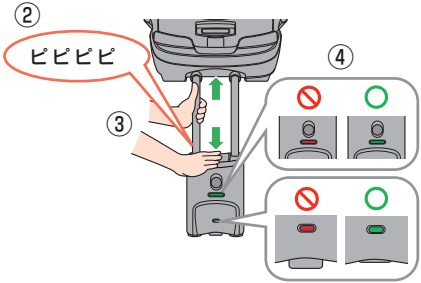
ヘッドレストが干渉している場合



ヘッドレストを外し、ベースを押し込む。

6 サポートレッグを床面に接地させる





サポートレッグを揺らし、再度アラーム音が鳴らないことを確認してください。

① サポートレッグ調節レバーを握り、サポートレッグが車の床面に接地するまで下げる。

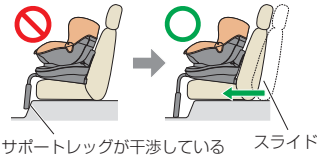
② 完了音(ピピピピ)が鳴りアラーム音が止まる。

③ サポートレッグを押し伸ばす。

④ 2か所の表示が完全に緑色になっていることを確認する。

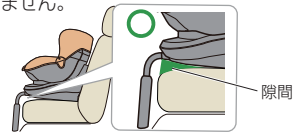
参考

サポートレッグが車内の凹凸やエアコンの吹き出し口などに干渉する場合は、干渉しない位置まで車の座席をスライドさせてください。



参考

アラーム音が鳴り続く、または2か所の表示が緑色にならない場合は、サポートレッグをさらに伸ばしてください。
車によっては本品のベースと車の座面に隙間ができる場合がありますが安全性能上、問題はありません。

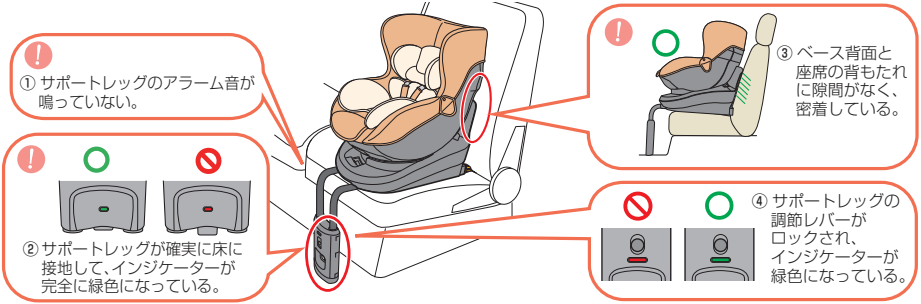


車へチャイルドシートを取り付ける

動画
取付方法・
取付後の確認

取付後の確認

正しく取り付けできない場合は、最初からやり直してください。
取り付けに関してご不明な点等がありましたら、巻末に記載のWEBサイトよりお問い合わせください。



⚠警告

- 取り付け後に、座席をスライドまたはリクライニングしないでください。
  チャイルドシートが正しく固定されず安全性が損なわれます。
- 再度サポートレッグのアラーム音が鳴りだした場合はサポートレッグを調節してください。

サポートレッグの調節方法 ➡ 31 ページへ

参考 車によっては本品のベースと車の座面に隙間ができる場合がありますが安全性能上、問題はありません。

車からチャイルドシートを取り外す

動画
取外し方法

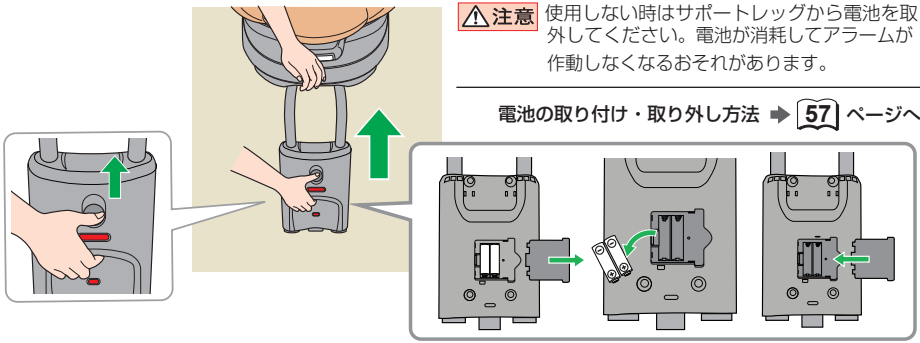
参考　作業スペースを確保してください。

作業前の準備 ➡ 22 ページへ

1 サポートレッグを縮める

⚠注意　使用しない時はサポートレッグから電池を取り外してください。電池が消耗してアラームが作動しなくなるおそれがあります。

電池の取り付け・取り外し方法 ➡ 57 ページへ

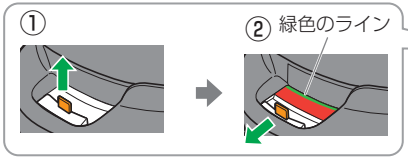


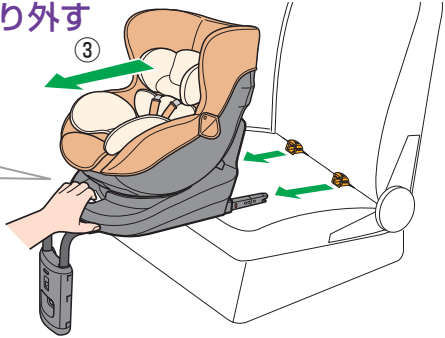
サポートレッグ調節レバーを握りながら、伸ばしたサポートレッグを一番上まで縮める。

参考　サポートレッグが車の床から離れるとアラーム音が鳴り始めます。

車からチャイルドシートを取り外す

2 チャイルドシートを座席から引き抜く





① 黄色の解除レバーを上にスライドさせながら、

② コネクタレバーを**緑色**のラインが見えるまで強く握る。

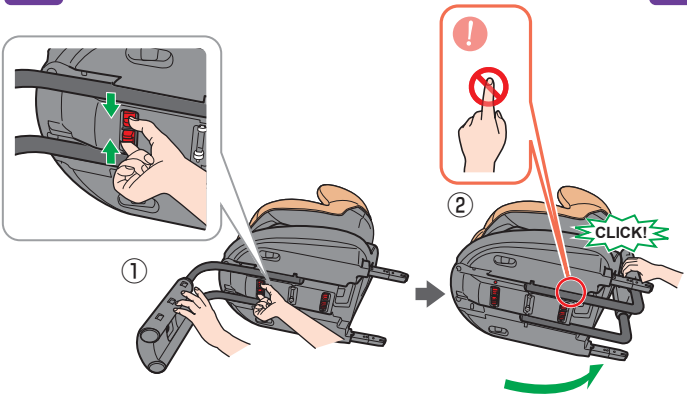
③ そのまま、チャイルドシートを引っ張り、コネクタ部がISOFIX取付金具から外れるまで一気に引き抜く。

黄色の解除レバーが上がっていないと赤色のラインしか見えず、チャイルドシートが車のISOFIX取付金具から外せません。

取り外せない場合

⚠注意 製品の落下等でISOFIXコネクタが破損・変形していると、取り外しにくい場合があります。また破損・変形している場合は、車に取り付けないでください。

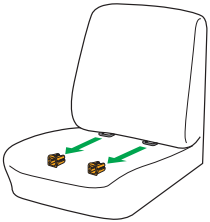
3 サポートレッグを収納する



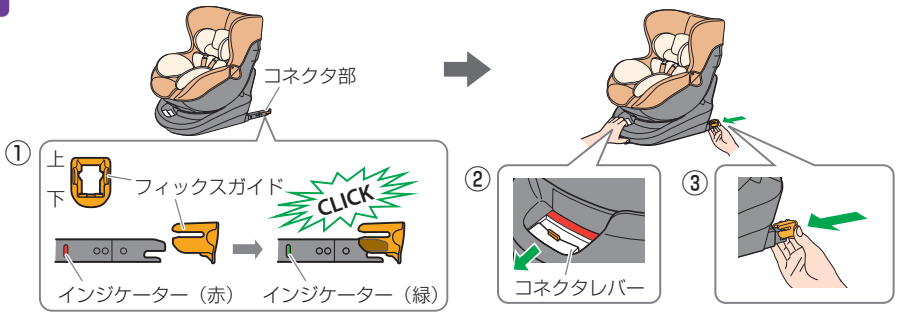
① サポートレッグ解除レバーをつまみ、ロックを解除する。

② サポートレッグをベース前面から背面に回転させ固定する。

4 車の座席からフィックスガイドを引き抜く



5 本体のコネクタ部を短くする



① フィックスガイドを左右のコネクタ部に、カチッと音が鳴りインジケーターが緑になるように取り付ける。

② コネクタレバーを握りながら

③ コネクタ部が短くなるように押し込む。

⚠注意 使用しない時はサポートレッグから電池を取り外してください。電池が消耗してアラームが作動しなくなるおそれがあります。

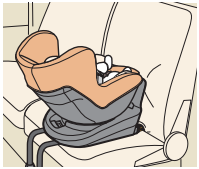
電池の取り付け・取り外し方法 ➡ 57 ページへ

参考 フィックスガイドをコネクタ部から外す際は、保護部材の外し方を参考にしてください。

保護部材を外す ➡ 24 ページへ

－MEMO－

お子さまを乗せる



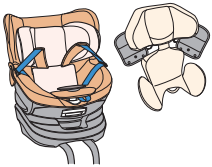
動画
お子さまの
乗せ降ろし

お子さまを乗せる前の確認事項

チャイルドシートの向き

お子さまの身長が76cm以上、かつ月齢が15ヶ月を超えるまでは
後向きで使用してください。

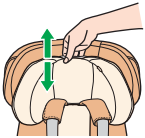
本品の使用条件 ➡ 2 ページへ



インナークッションの有無

お子さまの身長が60cm以下の場合はインナークッションを
使用してください。身長が60cmを超えたら首がすわり、頭・胸・腰
回りが窮屈になるのを目安にインナークッションを外してください。
身長が75cmを超えたら必ずインナークッションを外してください。

インナークッションの使いかた ➡ 54 ページへ



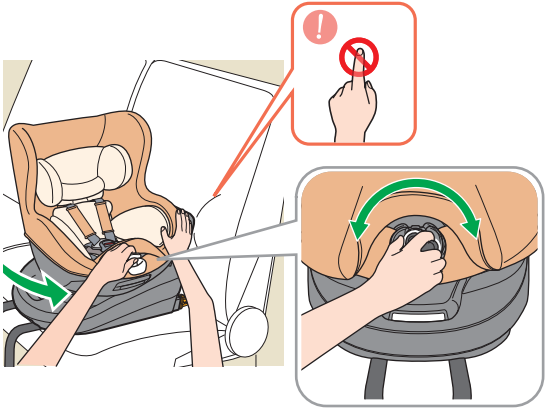
肩ベルトの高さ（ヘッドレストの高さ）

お子さまの成長に合わせて、肩ベルトの高さを調節してください。

肩ベルトの高さ調節 ➡ 48 ページへ

⚠警告 極端に厚着をした状態のお子さまは乗せないでください。
お子さまをしっかり拘束できない場合があります。

1 シートを横向きに回転させる

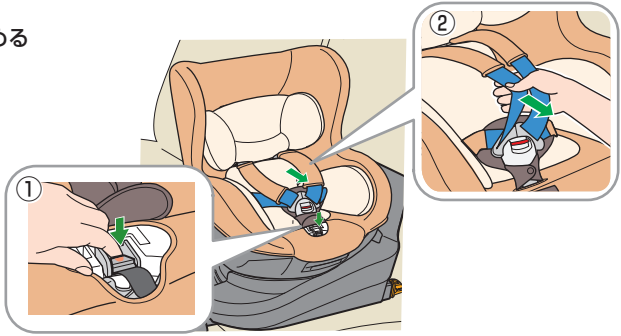


クルットノブを左右どちらかに最大まで回したままシートを回転させます。

参考 リクライニングが3段目の場合のみ、シートを回転できます。

回転操作方法 ➡ 47 ページへ

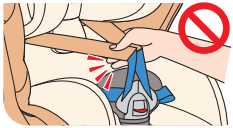
2 肩ベルトを緩める



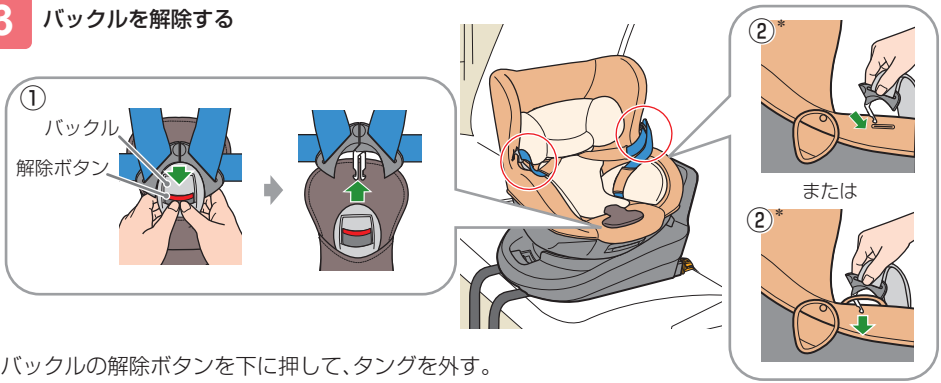
① アジャストレバーを押しながら、

② 肩ベルトを引っ張り出して、緩める。
肩ベルトは左右両方とも緩めてください。

参考 肩ベルトカバーを引いても、肩ベルトは緩みません。



3 バックルを解除する



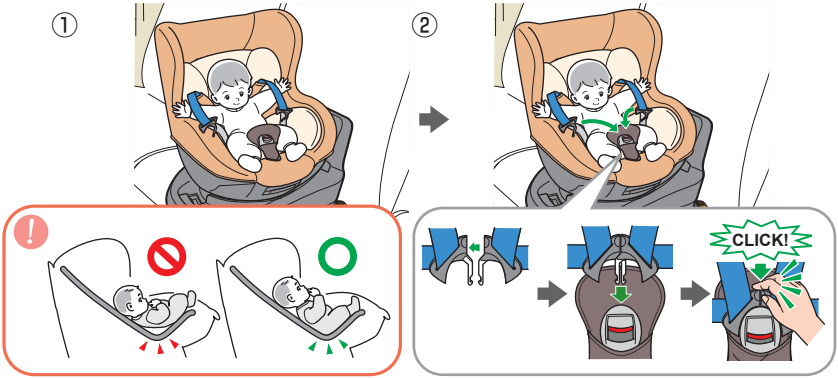
① バックルの解除ボタンを下に押して、タングを外す。

② 外したタングをタングホルダー*に入れておく。
乗せ降ろしの際に、タングやベルトが邪魔にならず、便利です。

*タングホルダーはグレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

参考 バックルの解除ボタンは、規則により容易に外れないよう固くしてあります。

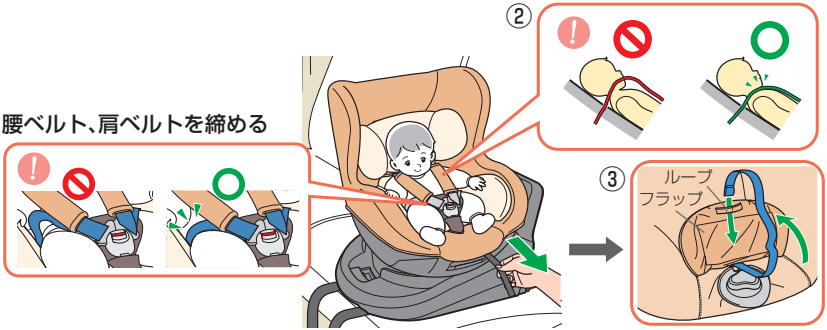
4 お子さまをシートの一番深い位置に座らせ、バックルを差し込みロックする



① お子さまの腕に肩ベルトを通す。
② 左右のタングを重ね合わせてバックルに差し込み、確実にロックする。

⚠注意 お子さまのおしりが一番深い位置にくるように座らせてください。

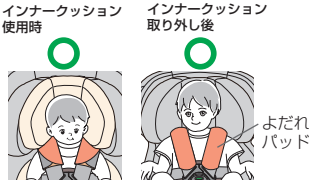
5 腰ベルト、肩ベルトを締める



① 腰ベルトの緩みを取り、よじれを直す。
② 肩ベルトがお子さまの肩にかかり、肩から鎖骨まで密着するように、肩ベルトアジャスターを引き、肩ベルトでお子さまをしっかりと拘束する。
③ 引いた後の肩ベルトアジャスターは、邪魔にならないようにフラップの裏側にあるループに通す。

⚠警告

- 腰ベルトは低い位置でお子さまの骨盤を拘束してください。
- インナークッション使用時は、肩ベルトカバーの表側が上面になるように拘束してください。
  インナークッションを外した後はよだれパッドを取り付けた面が上面になるように拘束してください。



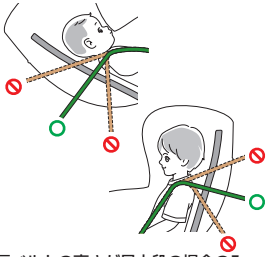
インナークッションの使いかた ➡ 54 ページへ

お子さまを乗せた後の確認

お子さまを乗せ終わったら、次のポイントを確認する。

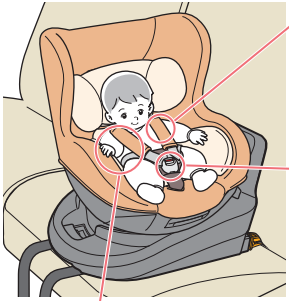
動画
肩ベルトの調節・
お子さまを乗せた後の確認

① お子さまの肩から背もたれに対して肩ベルトが垂直*になっている。



＊肩ベルトの高さが最上段の場合のみ
お子さまの肩が肩ベルト最上段の位置から4cm高い位置になるまで使用できます。

肩ベルトの高さ調節 ➡ 48 ページへ



③ 肩ベルトがお子さまの肩にかかり、鎖骨まで密着するように締められていて、よじれていない。

④ バックルが確実に差し込まれている。

⑤ お子さまの身長・月齢に合わせてインナークッションが調節されている。

⑥ インナークッション使用時は必ず肩ベルトカバーを取り付けている。

⑦ お子さまのおしりが一番深い位置になっている。

② 腰ベルトは低い位置でお子さまの骨盤を拘束し、緩んだり、よじれていない。

腰ベルト・肩ベルトの締め方 ➡ 43 ページへ

よくあるご質問 ➡ 72 ページへ

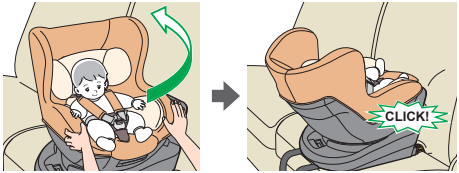
お子さまの身長・月齢に合わせてシートを後向き、または前向きに回転させて、固定する。

本品の使用条件 ➡ 2 ページへ

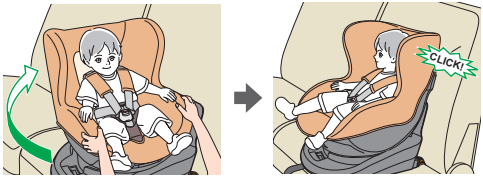
後向き
身長：40cm-87cm

前向き
身長：76cm-100cm
月齢：15 ヶ月超

後向きにシートを回転させて、固定する。



前向きにシートを回転させて、固定する。



回転操作方法 ➡ 47 ページへ

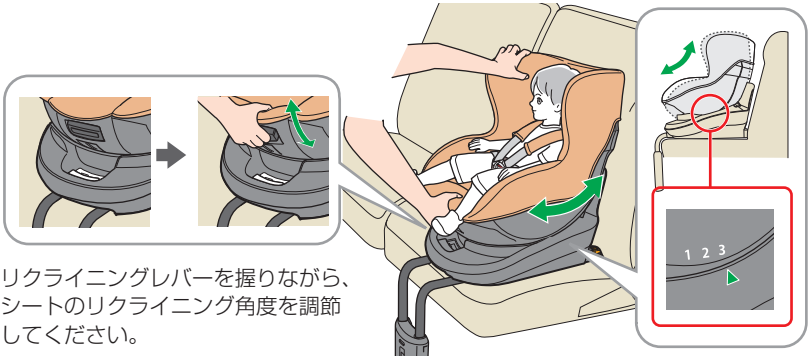
⚠危険　お子さまの身長が76cm以上、かつ月齢が15 ヶ月を超えるまでは前向きで使用しないでください。

⚠警告　走行中は、必ずシートを後向き、または前向きで固定してください。固定していない状態で使用すると、衝突時お子さまを適切に保護できず、死亡や重傷を負う恐れがあります。

リクライニングの操作方法

動画
リクライニング操作方法・
回転操作方法

シートを前向きに固定している場合は、3段階にリクライニングすることができます。



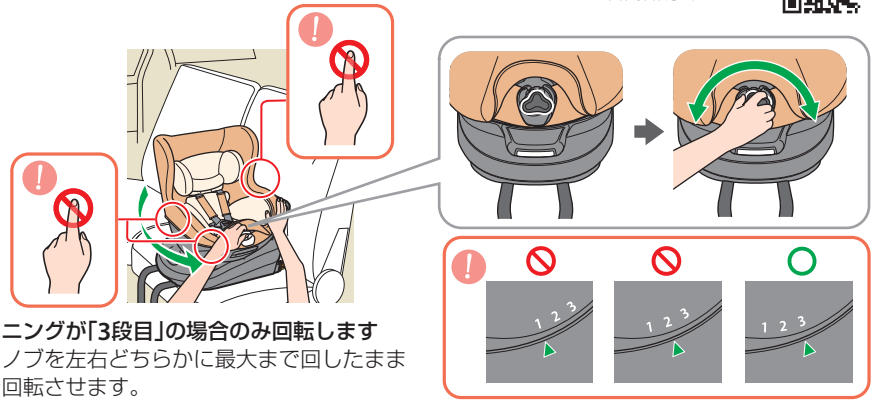
リクライニングレバーを握りながら、
シートのリクライニング角度を調節
してください。

⚠危険 走行中は、リクライニング操作をしないでください。

⚠注意
- 車によっては本体が車の座席や内装に干渉して、リクライニングできる段数が限られる場合があります。
- リクライニング操作の際は、可動部に指を挟まないようにご注意ください。

回転操作方法

動画
リクライニング操作方法・回転操作方法



リクライニングが「3段目」の場合のみ回転します
クルットノブを左右どちらかに最大まで回したまま
シートを回転させます。

⚠危険

- 走行中は、必ず本品の使用条件に従ってシートの向きを固定してください。
- 走行中は、シートの回転操作をしないでください。

⚠注意

- 車によっては本体が座席や内装に干渉して、360度回転できない場合があります。
- 回転操作の際は、可動部に指を挟まない、お子さまの身体が挟まらない・ぶつからないようにご注意ください。

肩ベルトの高さを調節する

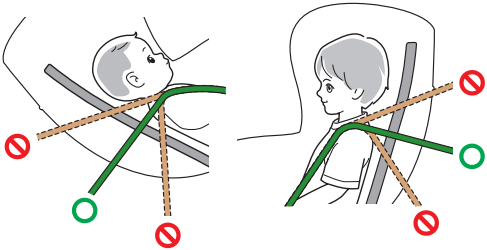
動画
肩ベルトの調節・
お子さまを乗せた後の確認

肩ベルト高さの目安

肩ベルトはお子さまの肩から背もたれに対して垂直になる高さ*で使用してください。

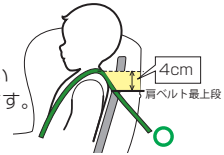
後向き

前向き



***肩ベルト高さが最上段の場合のみ**

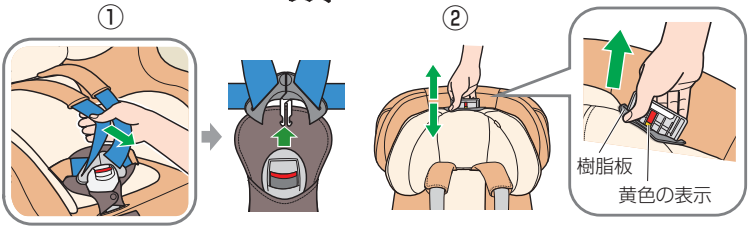
お子さまの肩が肩ベルト最上段の位置から4cm高い位置になるまで使用できます。

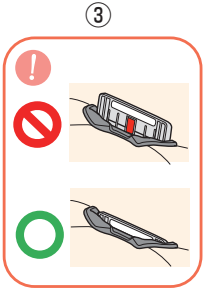


⚠警告　正しい肩ベルトの高さで使用していないと、衝突時お子さまを適切に保護できず、死亡や重傷を負う恐れがあります。

1 日よけが付いている場合は外し、肩ベルトの高さを調節する

日よけの取り外しかた ➡ 53 ページへ





① 肩ベルトを緩め、バックルを解除する。

肩ベルトの緩めかた ➡ 40 ページへ

バックルの解除方法 ➡ 41 ページへ

② 肩ベルト調節レバーの手前の樹脂板を親指で押さえながら、黄色が表示されるまでレバーを強く引き上げ、高さを調節する。

③ レバーが元に戻り、ロックされたことを確認する。

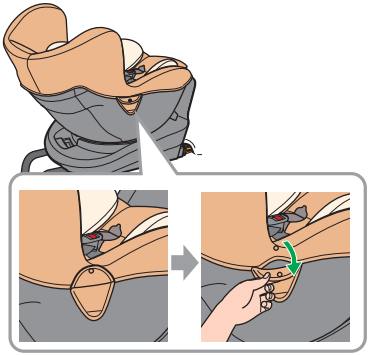
⚠警告 肩ベルト調節レバーはシートからお子さまを降ろした状態で操作してください。
お子さまを乗せた状態、バックルをロックした状態、肩ベルトを締めた状態では操作できません。
肩ベルト・腰ベルトが締まったり緩んだりするため、万が一事故が起きた際、本来の性能を発揮できません。

⚠注意 肩ベルト調節レバーは無理に操作しないでください。
破損やけがの原因になる場合があります。

日よけを取り付ける（日よけ付きモデルの場合）

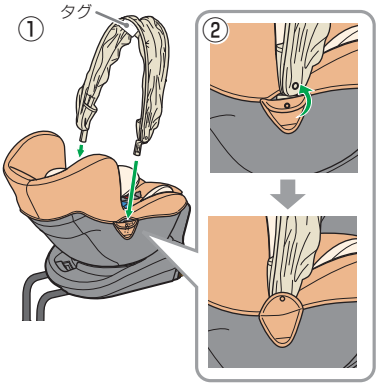
動画
日よけの取付・使用・取外方法

1 本体カバーのボタンを外す



本体カバーの両側にあるボタンを外す。

2 日よけを差し込む



① タグが付いている方をシートの後ろ側にして日よけを差し込む。

② 本体カバーのボタンと日よけのボタンを留める。

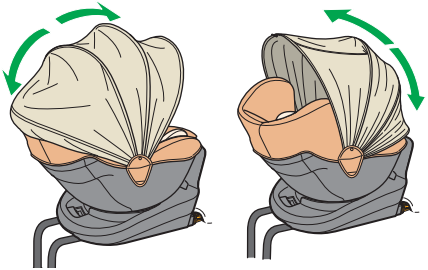
日よけの使いかた

＊グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

日よけの使用期間の目安

日よけを折りたたんだ状態で、お子さまの頭が日よけに干渉しない間は、使用できます。
お子さまの体重が15 kgを超えた場合は、日よけを外してください。

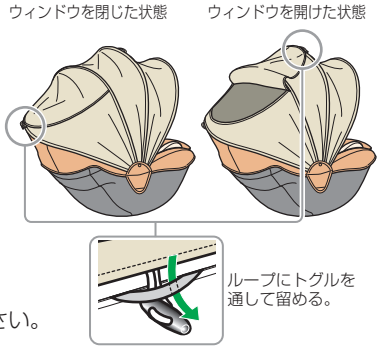
日よけを広げる



日よけを広げる。
日よけは日差しの方向にあわせて前後に自由に調節してください。

参考 必ず、本体カバーのボタンと日よけのボタンを留めてください。
日よけを広げることができません。

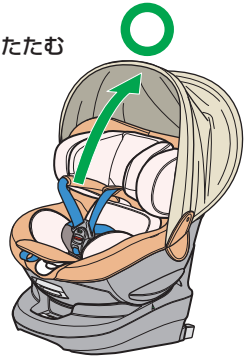
ウィンドウを留める＊

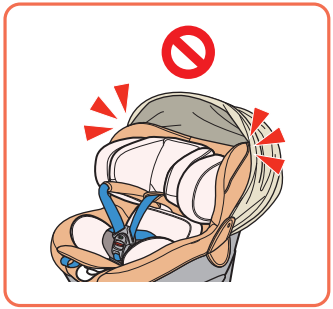


日よけの使いかた

動画
日よけの取付・使用・取外方法

日よけを折りたたむ





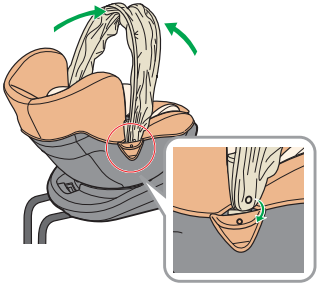
⚠注意 日よけはシートの張り出しよりも後ろ側にたたまないでください。夏場の高温下の車内で、フレームが変形するおそれがあります。

⚠注意
- 本品を持ち運びする際は日よけ部分を持たないでください。
  破損するおそれがあります。
- 日よけをご使用中にお子さまの頭が日よけに干渉する場合や、お子さまの乗せ降ろしの際に、日よけが妨げになる場合は、日よけを取り外してください。
- 日よけに、おもちゃやサンシェードなどを取り付けないでください。
  急ブレーキや衝突時にお子さまに当たるおそれがあります。

日よけを取り外す（日よけ付きモデルの場合）

動画
日よけの取付・使用・取外方法

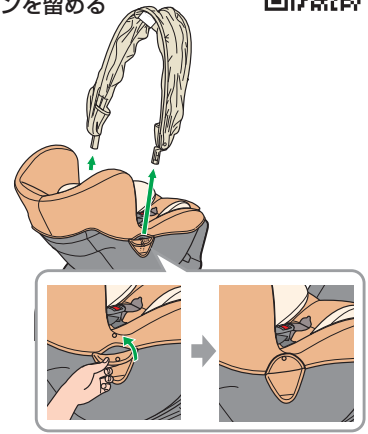
1 本体カバーのボタンを外す



本体カバーのボタンと日よけのボタンを外す。

⚠注意 日よけを取り外す時は、無理に引っ張らないでください。
破損するおそれがあります。

2 日よけを取り外し本体カバーのボタンを留める



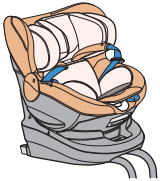
日よけを引き抜く。
本体カバーのボタンを留める。

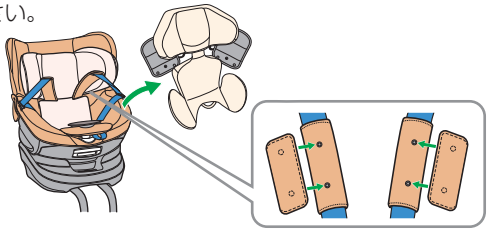
インナークッションの使いかた

動画
インナークッション
の使用方法

お子さまの身長や成長に合わせてインナークッションを取り付け、または取り外す。

身長60cm以下	身長60cmを超えたら	身長75cmを超えたら
インナークッションを使用する	首がすわり、頭・胸・腰回りが窮屈な場合はインナークッションを外し、付属品のよだれパッドを取り付けてください。	インナークッションを外し、付属品のよだれパッドを取り付けてください。





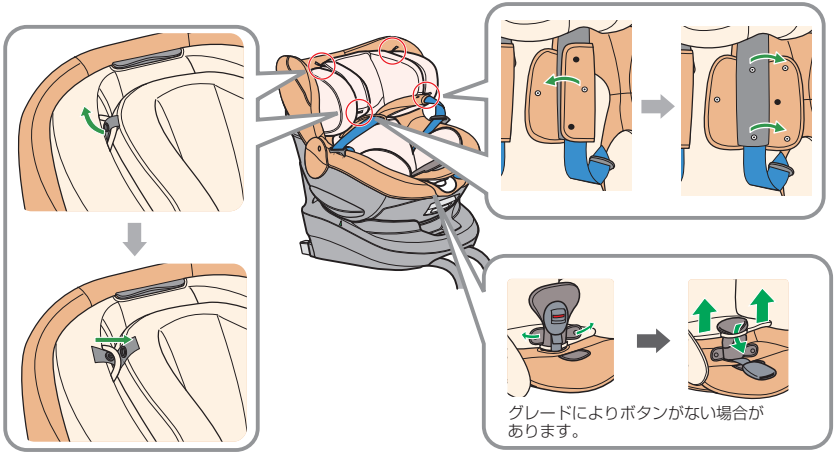
よだれパッドの取り付け方法 ➡ 71 ページへ

⚠警告 インナークッション使用時は必ず肩ベルトカバーを取り付けてください。
取り付けていないと、衝突時お子さまを適切に保護できず、死亡や重傷を負う恐れがあります。

＊グレードにより仕様が異なる場合があります。

インナークッション*の取り外しかた

インナーヘッドレストクッションのボタン（4か所）、左右の肩ベルトカバーのボタン（6か所）、バックルカバー *のボタン（1か所）を取り外す。

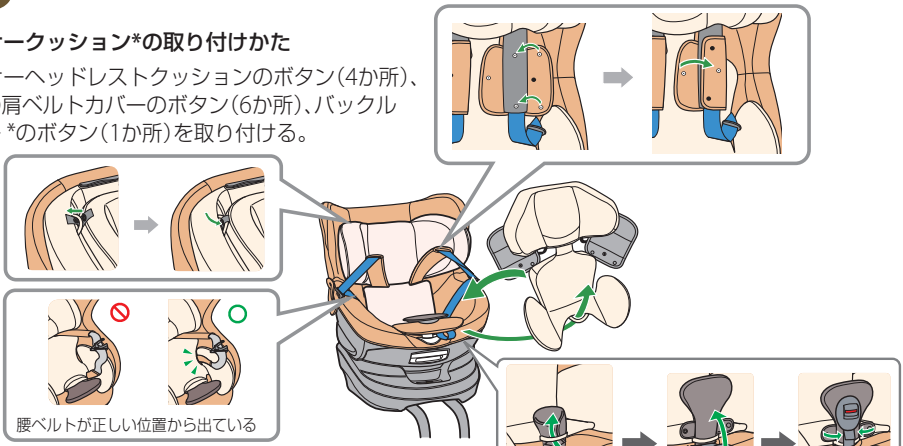


インナークッションの使いかた

＊グレードにより仕様が異なる場合があります。

インナークッション*の取り付けかた

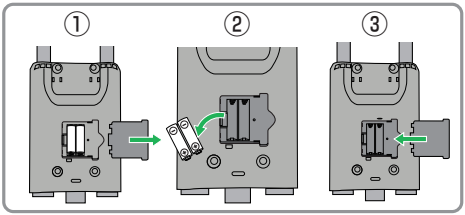
インナーヘッドレストクッションのボタン(4か所)、左右の肩ベルトカバーのボタン(6か所)、バックルカバー *のボタン(1か所)を取り付ける。



⚠警告 インナークッション使用時は必ず肩ベルトカバーを取り付けてください。
取り付けていないと、衝突時お子さまを適切に保護できず、死亡や重傷を負う恐れがあります。

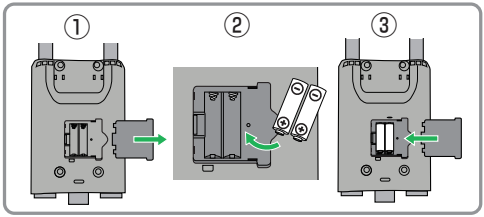
電池の取り付け・取り外し方法

サポートレッグの電池を取り外す



① サポートレッグ裏の電池カバーをスライドして外す。
② 電池を取り外す。
③ 電池カバーをスライドして取り付ける。

サポートレッグに電池を取り付ける



① サポートレッグ裏の電池カバーをスライドして外す。
② 単三アルカリ乾電池2本を、⊕ ⊖ を間違えないようにセットする。
③ 電池カバーをスライドして取り付ける。

⚠注意

- アルカリ乾電池以外(充電池など)は使用しないでください。電池寿命が短くなったり、アラームが作動しなくなる場合があります。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。液漏れなどの原因になります。

参考 電池を取り付けるとアラーム音が鳴り始めます。アラーム音が鳴らない場合は、電池を交換してください。

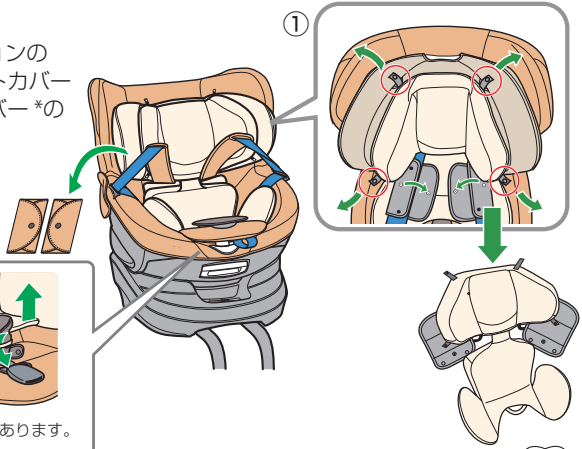
カバーを取り外す

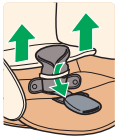
＊グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

動画
カバーの取外方法・取付方法

1 ボタンを外し、インナークッション*、腰ベルトカバー *を取り外す

① インナーヘッドレストクッションのボタン（4か所）、左右の肩ベルトカバーのボタン（6か所）、バックルカバー *のボタン（1か所）を取り外す。

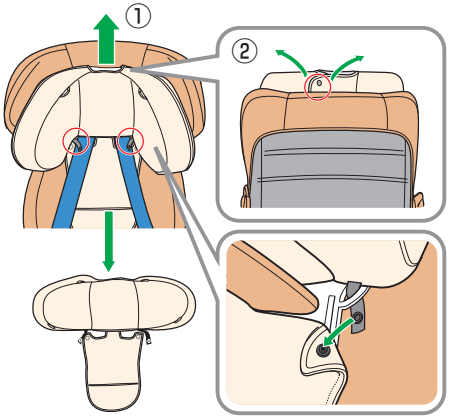




グレードによりボタンがない場合があります。

インナークッションの取り外しかた ➡ 55 ページへ

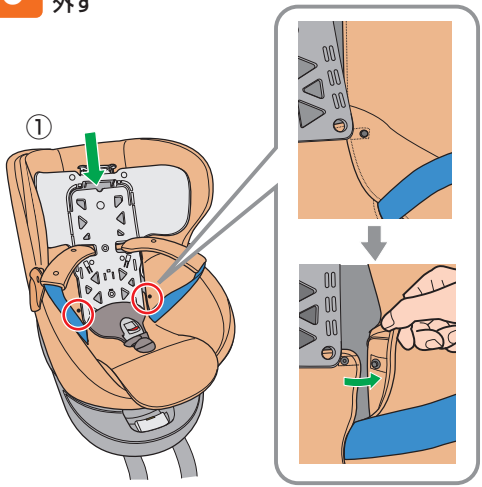
2 肩ベルトの高さを上げ、背もたれカバー *を取り外す



① 肩ベルトの高さを1番上に上げる。
② 背もたれカバーのボタン(3か所)を外し背もたれカバーを取り外す。

肩ベルトの高さ調節 ➡ 48 ページへ

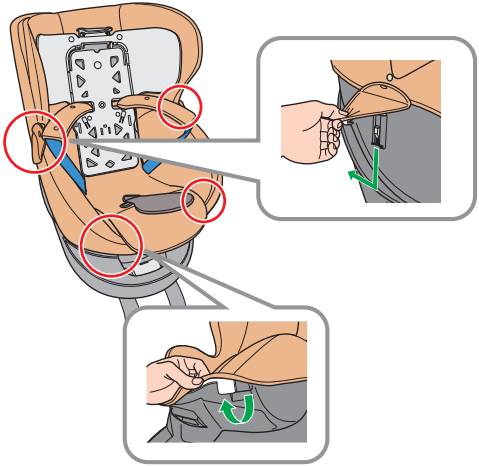
3 本体カバーのボタンを外す



① 肩ベルトの高さを1番下に下げる。
② 腰ベルトの根元近くにある両側のボタン*(2か所)を外す。

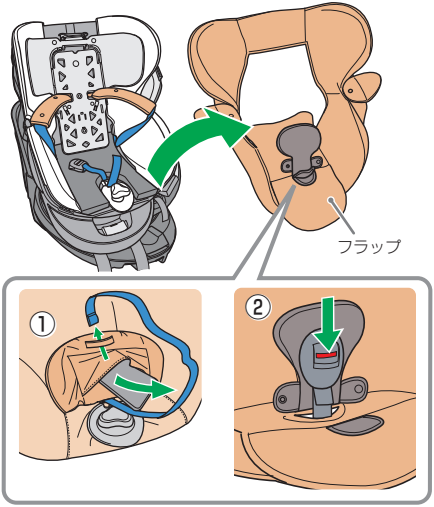
カバーを取り外す

4 本体カバーのフック（4か所）を外す



＊グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

5 本体カバーを外す



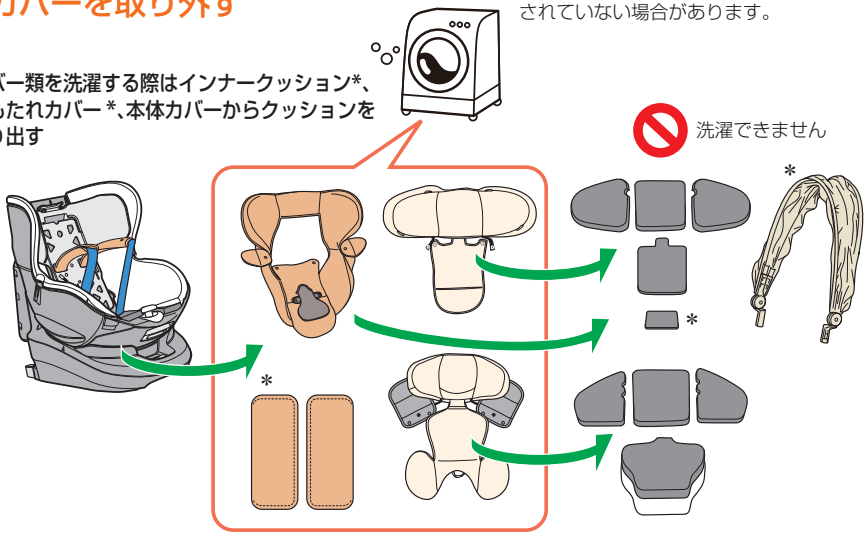
① フラップを裏返し、フラップクッション*を抜き、肩ベルトアジャスターを外す。
② バックルをカバー *から外す。

参考 本品のクッション及び、カバー類のウレタンフォームが変色する場合がありますが、使用上の問題はありません。

カバーを取り外す

＊グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

6 **カバー類を洗濯する際はインナークッション*、背もたれカバー *、本体カバーからクッションを取り出す**



⚠注意　肩ベルトカバーは取り外せません。

お手入れのしかた

お手入れの際の注意

チャイルドシートから取り外したカバー類は、以下の注意に従ってお手入れしてください。

- 洗えないカバー類やクッション類が汚れた場合は、薄めた中性洗剤を含ませ固く絞った布で拭いてください。
- カバー類で覆われていないところの汚れは、柔らかいきれいな布で拭いてください。
  それでも落ちない場合は、薄めた中性洗剤を含ませ固く絞った布で拭いてください。
- 本体の強度が落ちますので、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
- 洗濯の回数やカバーの経年劣化の状態によっては、シワ等が発生する場合がありますが、性能に問題はありません。

⚠注意 タンブル乾燥やねじり絞りは避けてください。クッションが変形するおそれがあります。

洗濯上の注意	
30	30℃以下の液温で、洗濯機は弱水流または弱い手洗いモードで洗濯してください。また、必ず洗濯ネットおよび、中性洗剤を使用してください。
	塩素系および酸素系漂白剤による漂白はできません。
	タンブル乾燥はできません。
	洗濯機で脱水後、形をととのえてから陰干しし、よく乾かしてください。ねじり絞りは避けてください。
	アイロンは低温であて布をして、表面からかけてください。
	ドライクリーニングはしないでください。
W	弱い操作によるウエットクリーニングができます。

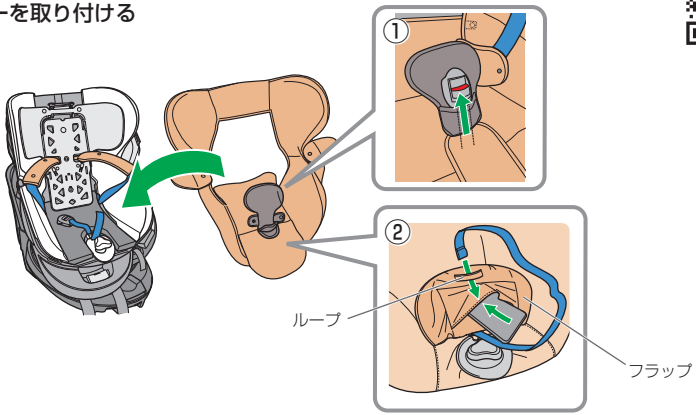
＊一部アイロンが掛けられないカバー類があり、注意ラベルが付けられておりますのでご確認ください。

カバーを取り付ける

動画
カバーの取外方法・
取付方法

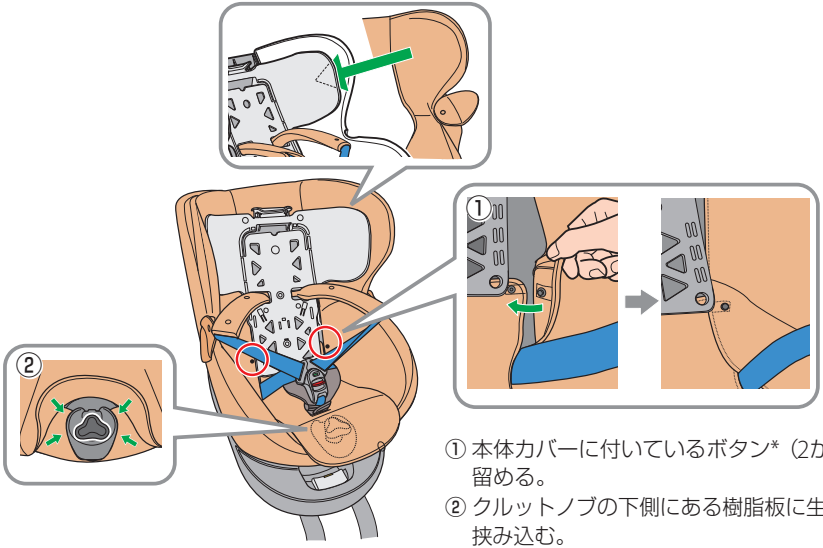
＊グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

1 本体カバーを取り付ける



① バックルをカバーに通す。
② フラップを裏返し、フラップクッション＊を入れ、肩ベルトアジャスターをループに通す。

2 本体カバーをかぶせ、ボタンを留める

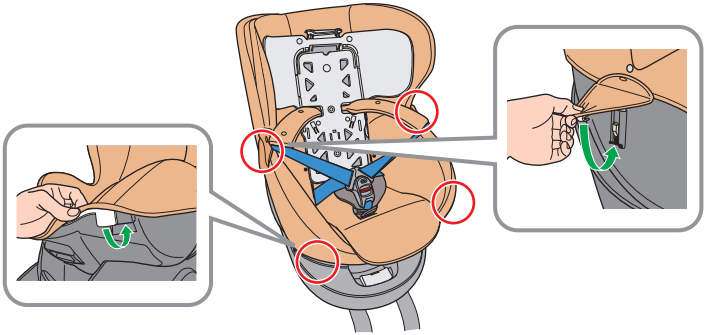


① 本体カバーに付いているボタン*（2か所）を留める。

② クルットノブの下側にある樹脂板に生地を挟み込む。

カバーを取り付ける

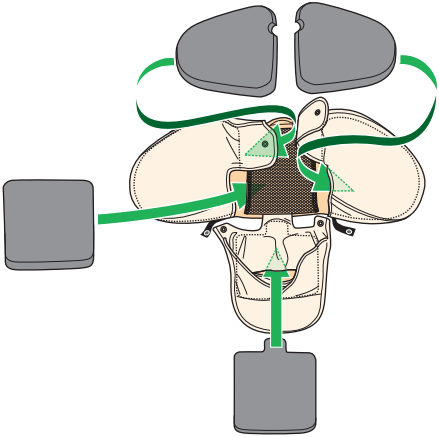
3 フックを引っ掛ける



本体カバーのフックを前面(2か所)、および左右側面(2か所)に引っ掛ける。

4 背もたれカバーを取り付ける

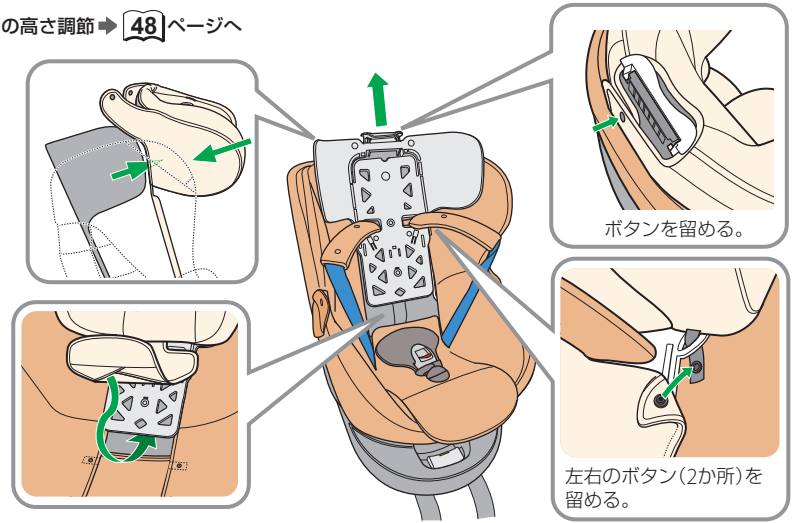
ヘッドレストクッション・サイドクッション・背もたれクッションを背もたれカバーに戻す。



カバーを取り付ける

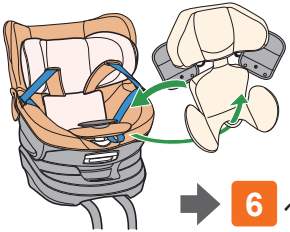
肩ベルトを1番上まで上げ、前方からカバーを被せて引っ掛け、ボタンを留める。

肩ベルトの高さ調節 ➡ 48 ページへ

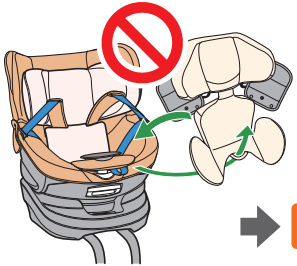


5 お子さまの身長や成長に合わせてインナークッションまたはカバー類を取り付ける

身長60cm以下	身長60cmを超えたら	身長75cmを超えたら
インナークッションを取り付ける。	首がすわり、頭・胸・腰回りが窮屈な場合はインナークッションは取り付けない。	インナークッションを取り付けない。



6へ



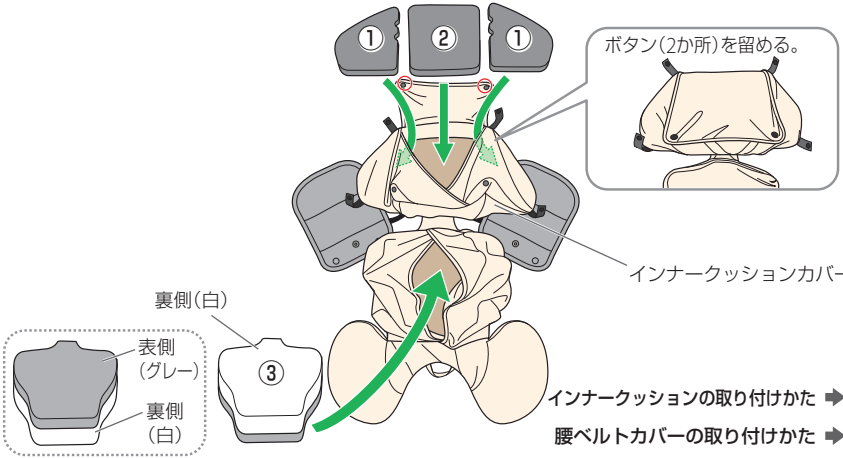
7へ

カバーを取り付ける

＊グレードにより仕様が異なる場合があります。

6 インナークッションを取り付ける

①インナーサイドクッション ②ヘッドレストクッション ③フラットクッションの順に
インナークッションカバー *に戻し、インナークッション、腰ベルトカバー *を取り付ける

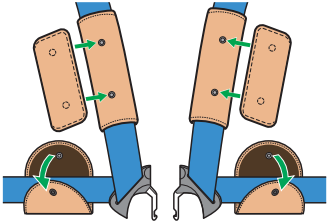


インナークッションの取り付けかた ➡ 56 ページへ
腰ベルトカバーの取り付けかた ➡ 71 ページへ

＊グレードにより仕様が異なる場合や付属されていない場合があります。

7 カバー類を取り付ける

よだれパッド*、腰ベルトカバー *を取り付ける



よだれパッドを肩ベルトにボタンで留める。
腰ベルトカバーを腰ベルトに巻き、ボタンで留める。

参考 インナークッション使用時はよだれパッド*を使用できません。

よくあるご質問

よくあるご質問は以下のエールベベWEBページまたはQRコードから確認することができます。
よくあるご質問では、チャイルドシートについての疑問・質問への回答、およびアドバイスを行っています。

パソコンから・・・　https://ailebebe.jp/support/

スマホから・・・・　よくあるご質問

パーツの購入はこちらから・・・・

お客様の疑問・質問が掲載されていない場合は、お手数ですが、AIチャットボットまたは巻末に記載のWEBサイトよりお問い合わせください。

AIチャットボットでのお問い合わせについて

LINEのチャットでチャイルドシートに関するお問い合わせに24時間ご対応いたします。
下記QRコードからCarmate を友だち追加することでご利用いただけます。
※内容によっては、お答えできない場合があります。 あらかじめご了承ください。

LINE 友だち追加

製品仕様

製品寸法（高さ×幅×奥行）：617×440×640 mm
（ヘッドレストを最も下げ、リクライニングが「3段目」、サポートレッグを収納時、日よけを除いた状態）
製品質量：約15 kg、仕様により異なる（日よけを除く）
本体材質：ポリプロピレン、ポリアミド、ポリアセタール、ＡＢＳ等
本体カバー：ポリエステル、ウレタンフォーム等
本体クッション：ポリスチレン、ウレタン等

保管方法

サポートレッグを収納し、本品に市販の袋等を被せて、直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。

廃棄方法

- お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。
- 事故により本品を処分する場合は、油性ペン等で本品の目立つところに「事故品」と記載してください。

サポートレッグのアラーム仕様

動作温度範囲：0°C-45°C
低温時や凍結温度時、高温時は、アラームが作動しなくなる場合があります。
使用電池：単三形アルカリ乾電池×2本
電池寿命（新品時）：約1年

保証について

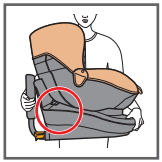
保証規定

1、保証期間内(ご購入日より4年間)に不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態において、万が一故障した場合には無料にて修理いたします。レシート等、購入日の証明となるものが必要です。
2、保証期間内においても次の場合は有料での修理となります。
A、樹脂(プラスチック)部品の紫外線等自然劣化による変色。
B、本体カバー等の縫製部品、クッション材の色あせ、擦り切れ、キズや破れ、その他の破損。
C、お客様の誤った使いかた(取扱説明書やご使用上の注意において禁じている行為)やお手入不良、または不当な修理や改造による故障および損傷。
D、ご購入後の輸送・移動・落下物による故障および損傷。
E、火災・地震・水害・落雷その他の天災地変による故障および損傷。
F、保証書に商品名、品番、製造番号、ご購入日、お客様名、ご購入店名の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
G、保証書のご提示がない場合。
H、部品の紛失および破損。
I、 故障の原因が本品以外に起因する場合。
J、金属部品の変形による故障。(強い衝撃を受けたとみなされるため)
※ 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費も有料となります。
3、一度ご使用になった製品は、原則的にお取り替えできません。
4、衝突事故など、一度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
5、製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理などの対応ができないことがあります。
6、他の人から譲り受けたもの、または再販品に関しては保証対象外となります。
7、製品による二次的な損傷や損害などについては保証対象外となります。
8、一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合は保証対象外となります。
9、日本国内のみ有効。海外からの修理サービスは致しかねます。
This warranty is valid only in Japan.

保　証　書

本保証書は、左記の保証規定に基づいて無料または有料で修理することをお約束するものです。
ご購入日から保証期間中に製品の故障が生じた場合は、本保 証書を弊社サービスセンター
またはご購入の販売店にご提示のうえ、お問い合わせください。

ご購入後、ご使用になる前に商品名、品番、製造番号、ご購入日、お客様名、
ご購入店名を直ちにご記入願います。本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
レシート等、購入日の証明となるものを本保証書と一緒に保管してください。



製造番号は本体の
側面に記載されております。

商品名 品　番	製造番号　※L11B123456などの英数字
保証期間 **ご購入日より４年間**（但し保証規定による）	ご購入日 年　　月　　日
お客様名 ご住所　〒 TEL.	ご購入店名 住所　〒 TEL.

修理メモ

株式会社カーメイト
本社/〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11

重要 ご購入後、直ちに製品登録をお願いします。

リコール制度について

2004年から、チャイルドシートのリコール制度が始まりました。
ご購入いただいた商品とお客様情報をご登録いただいたお客様には、
万が一製造上の問題等が生じた場合、弊社より直ちにお知らせし、
安全な状態でご使用いただけるよう製品の改善を実施致します。
この登録システムは、国土交通省が推奨しています。

ご登録方法

パソコンから

https://ailebebe.jp/entry.html

スマホ・ケータイから

お問い合わせ先

株式会社カーメイト

〒171-0051 東京都豊島区長崎 5-33-11

お問い合わせ ▶ カーメイトWebサイト【お客様サポート】

●本書に記載している他社商標については、カーメイトWEBサイトをご確認ください。
●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●本製品の誤った取り扱いや改造した場合での事故について、当社はその責任を一切負いません。

20231130